2026年 秋号

WA!

VOL. 108

L'hôpital KYOWA



みんなで繋がる てんてん祭り2026

てんてん祭り実行委員長　中島 桂

2026年10月10日（土）、第15回共和病院文化祭「てんてん祭り」を開催しました。今年のテーマは「みんなで繋がる てんてん祭り」です。

テーマは、職員から寄せられたたくさんの応募の中から、実行委員会で議論を重ねて決定しました。どの案にも応募者の想いが込められており、選考は白熱しましたが、委員会メンバーの想いとも重なるこのテーマに決まりました。

開催に向けて、私たちが何よりも大切にしたのは、患者様やご家族、地域の皆様に心から楽しんでいただくことです。模擬店の配置や会場全体の動線にも工夫を凝らし、誰もが楽しめるてんてん祭りを目指しました。

当日は晴天に恵まれ、800名を超える皆様にご来場いただきました。創意工夫を凝らした模擬店や様々な企画で賑わう会場では、職種や年齢、地域の垣根を越えた交流が生まれ、あちこちで笑顔があふれていて、まさに、テーマに込めた想いが形になった一日でした。



今年は新たに４階の多目的ホールも会場として活用しました。地域のお子さんたちが自分たちでエレベーターを利用して会場を訪れる姿からは、てんてん祭りが地域の皆様にとって身近な存在になっていることが感じられ、嬉しく思いました。何より来場された皆様の楽しそうな笑顔が実行委員会にとって大きな喜びとなりました。

てんてん祭りの開催にあたり、ご来場いただいた皆様をはじめ、準備や運営にご協力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

今回のてんてん祭りで生まれた繋がりを一日限りのものとせず、これからも地域に根差した病院として、皆様との繋がりを大切に育んでいきたいと思います。

たくさんのご来場、本当にありがとうございました！

日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

笑顔が繋がる てんてん祭り









今年で15回目の節目を迎えた「てんてん祭り」。地域の皆様との繋がりも深まり、過去最高の来場者数となるなど、大盛況の一日となりました。

屋外の模擬店には、たこ焼き、ベビーカステラ、フランクフルト、焼きそば、ホットドッグなど、お祭りには欠かせないメニューが並びました。普段は医療の現場で働く職員も、この日はエプロン姿で調理や販売に携わり、会場を盛り上げました。

そのほかにも、レモネードやバザー、お子さん向けの模擬店、精神科専門スタッフによる医療の取り組み紹介、デイケア・クラフト倶楽部の紹介など、様々な企画が並びました。アート作品の展示・販売では、心を込めて作られた作品にふれ、出展者の日頃の活動のがんばりを感じることができました。

ステージでは、バルーンショーや三線の演奏、ヒップホップダンスなど、多彩な演目が披露され、最後は知多娘さんによる華やかなステージで締めくくられました。

なかでも印象的だったのは、ヒップホップダンスのステージ前で、お子さんたちがダンスをまねて踊り出す姿です。その様子を入院患者さんが微笑みながら見つめており、会場には温かな空気が広がっていました。年齢や立場を越えて、誰もが一緒に楽しめる。そんな、てんてん祭りならではの光景でした。

ステージを盛り上げてくださった知多娘さんやボランティアの出演者の皆様をはじめ、開催に関わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

来年も、皆様に楽しんでいただけるてんてん祭りを目指して、実行委員として取り組んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

てんてん祭り実行委員会副委員長　須藤 明日香



共和病院では、外来～入院～退院を通して、様々な部署・職種によるサポートを行なっております。
毎号それぞれの部署・職種を紹介しています。

地域ケア課

地域ケア課は、精神科デイケア「フリージア」とグループホーム「あしび」の２領域を運営しています。

看護師や作業療法士、精神保健福祉士、介護福祉士、栄養士などの専門スタッフがチームを組み、皆さまが安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいます。

私たちの強みは、専門職による支援と、利用者さま同士の助け合いであるピアサポートの掛け合わせです。

日常の交流の中で利用者さま同士が励まし合い、夢や希望に向かって歩む姿は、私たち職員にとっても大きな学びとなり、支援の質を高める原動力になっています。

利用者の心身の健康づくりと自立に向けた新しい挑戦も両事業所では進んでいます。

フリージアでは太極拳やeスポーツ、マインドフルネス等を取り入れ、こころと身体を楽しくほぐす取り組みを行なっています。



また、あしびでは今年７月に移行支援住居「らるく」を開所し、一人暮らしを目指す方が自信をつけられるよう、職員が寄り添いながらサポートしています。

施設の見学は随時受け付けておりますのでどうぞお気軽にお問い合わせください。

皆さんからの温かいご理解とご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

精神保健福祉士　村瀬 舞

アルコール依存症治療チーム「SOBER」



当院では、アルコール依存症の患者様への支援をより充実させるため、昨年10月より多職種によるアルコール依存症治療チームの活動を開始しました。準備・検討を重ね、今年の7月よりチーム名を「SOBER」と定め、正式にスタートしています。

「SOBER」には、私達が大切にする５つの思いを込めています。

S：Sobriety（断酒・しらふ）
アルコールに頼らない生活を目指す。
O：OneStep（一歩）
無理なく、その人らしい一歩を大切にする。
B：Balance（バランス）
心と身体、生活のバランスを整える。
E：Empowerment（エンパワメント）
自分自身の力を取り戻し、主体的に行動ができるようになる。
R：Recovery（回復）
その人らしい回復を多職種で支えていく。

アルコール依存症の治療では、ただ「お酒をやめる」だけでなく、飲酒に至った背景や生活上の困りごとを振り返り、退院後も断酒を続けていくための力を身につけることが大切です。

SOBERでは医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、管理栄養士、薬剤師、公認心理師などの多職種が連携し、知識を身につけるだけでなく、ストレスへの対処や生活リズム、人との関わり方など、退院後の生活を見据えた支援を行なっています。

「お酒を止めたいけど自分一人では難しい」「飲酒によって生活や家族との関係に困っている」「病院に相談した方がいいのか分からない」

そんな悩みを抱えている方は、まずはご相談ください。一人で抱え込む必要はありません。

当院では、患者様の「変わりたい」という気持ちに寄り添い、その人らしい回復に向けた一歩を、多職種で一緒に考えていきます。

アルコールのことでお困りの方はどうぞお気軽にご相談ください。

作業療法士　土田 悠登

編集後記

酷暑が過ぎ、豪雨を経て、ようやく秋らしい気候になりました。先月には愛知県も豪雨に見舞われました。皆様大きな被害はありませんでしたでしょうか。急な天候変化がたびたび生じる昨今、一昔前よりもずいぶん、気象情報をこまめにチェックしなくてはならないなぁと感じます。

今年のてんてん祭りは幸い、晴天に恵まれ、大盛況でした。来年もまた、よい天気で皆さんをお迎えできるよう願っています。

広報委員会　豊田 佳子

I N F O R M A T I O N

気持ちの落ち着く場所

カームダウンエリアのご紹介

当院の外来にカームダウンエリアがあることをご存じですか?カームダウンとは「気持ちを落ち着ける」という意味で、近年は空港など公共の場にも設置が広がっています。

先日、外来患者様を対象に行なった感覚特性に関するアンケートでは、79%の方が音に、51%の方が光に関する困りごとがあると回答され、感覚特性に配慮した環境整備の必要性を改めて感じています。

当院では今年度、待合から少し離れた診察室前の廊下に、ザワザワした音やまぶしい光を避けて過ごすためのカームダウンエリアを設けました。その一角にあるのが、木製の箱型の枠に複数の吸音素材を組み合わせた「小空間」です。明治大学理工学部建築学科・上野佳奈子教授の研究室の学生さんにご提供いただきました。音の響きが和らぎ、やわらかな光が差し込む空間です。

感覚が敏感な発達特性のあるお子さんや強度行動障害の状態にある方はもちろん、年齢や疾患を問わずどなたでもご利用になれます。静かな場所で診察を待ちたいとき、不安や緊張が強くなったとき、気持ちを落ち着かせてから帰宅したいときには、どうぞお試しください。ご利用の際は精神科外来にお声がけください。

誰もが安心して受診できる病院を目指して、今後も環境づくりに取り組んでまいります。



PBST（積極的行動支援チーム）
公認心理師　飯田 愛



☆ラジオ番組☆

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長　松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞きください。

おもいやり共和のキラキラチアナイト

当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

12月29日(火)～1月3日(日)は、
年末年始につき外来診療を休診させていただきます。

共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

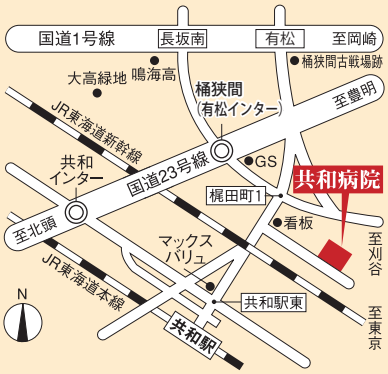
- 職員のチームワークと創造性が高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

～当院の基本方針～

- 患者さまや利用者さまの大切な権利をしっかりと守ります。
- 安全で安心できる、質の高い医療、介護サービスを提供することに努めます。
- 地域と医療・介護との切れ目のないサービスを提供します。
- 思いやりをもち、お互いの立場を尊重します。

～患者・利用者さまの権利～

- 個々の状態に応じた医療、介護を平等に受けることができます。
- 医療行為の説明に納得し、自己決定することができます。
  ただし、必要に応じ主治医の判断によってご家族、代理の方に説明をする場合もあります。
- 治療における個人情報は保護されます。
- 暴力や虐待を受けることなくあなたの人格は尊重されます。
- 外部医療機関の医師の意見を聞くことができます。(セカンドオピニオン)
- 退院、退所後の地域生活を支援するサービスを受けることができます。
- 退院請求・処遇に関する不服申し立てを行うことができます。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・内分泌内科
精神科・心療内科・脳神経内科
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL http://www.kyowa.or.jp/